

モンテビデオ声明とそれ以降のグローバルな インターネットガバナンス(IG)の動向

2014年3月14日

IGF Japan 第3回全体会議

日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部 前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2014 Japan Network Information Center



最近の動向

- ・ ITUの2014年全権委員会議 (PP-14) と、国際連合の2015年WSIS成果レビュー (WSIS+10)
 - ・ 「拡大協力」とインターネットガバナンスに対する政府の関与のあり方の議論に関する大きな節目
- ・ **モンテビデオ声明 → 1net.org**
 - ・ インターネット関連10団体から広がる、グローバルなマルチステークホルダー協力体制への取り組み
- ・ **PRISM疑惑 → 2014年4月 NETmundial (ブラジル・インターネットガバナンス会合)**
 - ・ ブラジル政府を中心とした動き



モンテビデオ声明(2013年10月7日)

- ・ <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131008-01.html>

2013年10月8日

各位

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

インターネット関連10団体が 「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」を発表

グローバルなインターネットの技術調整を行う10団体(IAB、ICANN、IETF、ISOC、W3Cおよび五つの地域インターネットレジストリ(RIR))は、2013年10月7日、「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」と題した声明文を、共同で発表しました。

この声明文は、現在インターネットの運営にあたり、特に関心事である「グローバルに調和の取れたインターネット運営」「インターネットガバナンス」「ICANNとIANA機能のグローバル化」「IPv6移行」の4点に対し、10団体共通の姿勢を表明するもので、先週モンテビデオで実施された共同検討会合の結果として発表されたものです。

JPNICでは、この声明発表についてお知らせするとともに、参考までに和訳もあわせて提供します。

今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明(和訳)

ウルグアイ 2013年10月7日

グローバルなインターネット技術基盤の調整に責任を持つ諸団体のリーダーたちは、ウルグアイのモンテビデオで会合を持ち、今後のインターネットに影響を及ぼす課題に関して検討しました。



4つの見解（ハイライトは筆者）

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。最近明るみに出た広範に浸透している監視活動により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない



4つの見解(ハイライトは筆者)

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。最近明るみに出た広範に浸透している監視活動により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない



4つの見解（ハイライトは筆者）

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。最近明るみに出た広範に浸透している監視活動により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない



4つの見解（ハイライトは筆者）

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。最近明るみに出た広範に浸透している監視活動により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない



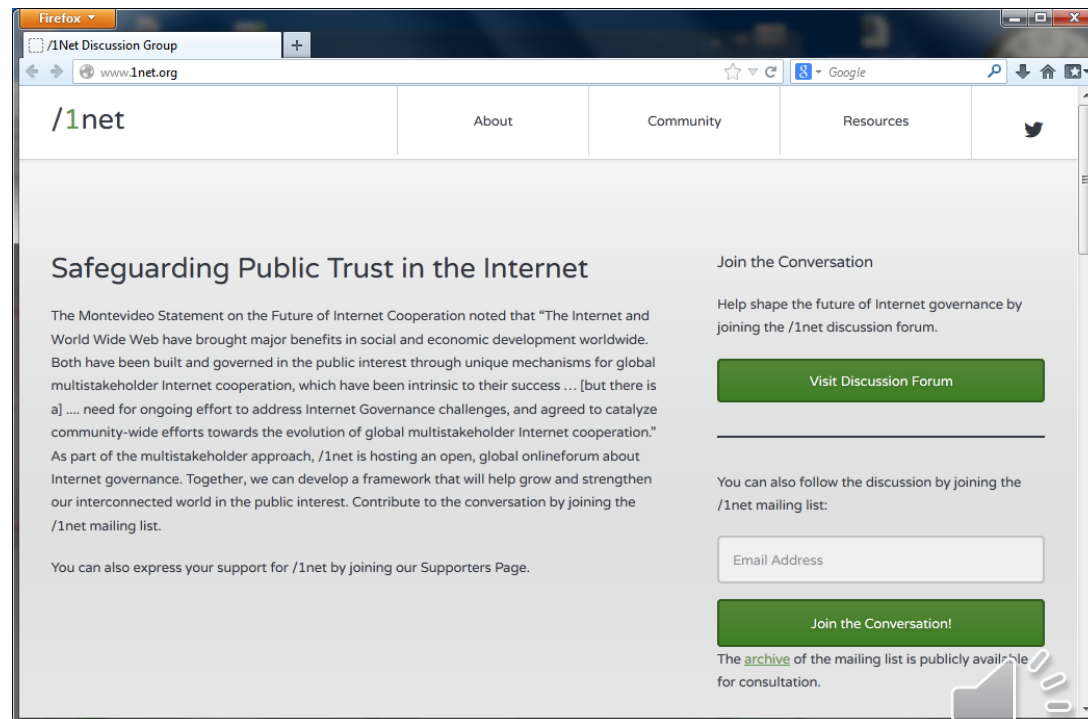
新たな体制の模索

- ・ グローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力
- ・ 「すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化」
 - ・ ICANNのグローバル化
 - ・ 既に、ロサンゼルスにあった本社機構を、イスタンブールとシンガポールに分散する動きを進めている。
 - ・ IANA機能のグローバル化 + すべての政府...が対等の関係で
 - ・ 米国(の契約に基づく業務遂行)脱却には、AoC(責務の確認)とIANA契約の整理が必要

IGFバリ(10/22~/25)

ICANNブエノスアイレス(11/17~/21)では

- ・ インターネット関連10団体から、ビジネスセクター、市民社会にも声をかけ、イメージの共有を図った。
 - グローバルなインターネット調整協力体制の検討
- ・ <http://1net.org/> マルチステークホルダーの検討プラットフォーム
 - メーリングリスト
 - ディスカッションフォーラム
 - ドキュメント群



PRISM疑惑とブラジル

- ・ **PRISM疑惑は国際問題に発展**
 - 大使館も盗聴の対象になっていた？
 - ブラジルがPRISM批判の急先鋒(国連総会9/24)

- ・ **ブラジルという国:**
 - ICANNに批判的なBRICS諸国の一翼
 - IGの体制論をITU会議体で主張
 - マルチステークホルダー(MSH)による、「ブラジル・インターネット調整委員会(CGI.br)」

NETmundial

- ・ ICANN事務総長Fadi Chehadeは、モンテビデオ会合の帰路にブラジリアに立ち寄り、Dilma Rousseff大統領と面談
- ・ 2013年10月10日、大統領は2014年4月にブラジルで「インターネットガバナンスサミット」を開くと宣言
 - ・ その後明らかになったこと
 - ・ 正式名称：“Global Multistakeholder Meeting on the Future of Internet Governance”
 - ・ 愛称：NETmundial <http://netmundial.br/>
 - ・ 2014年4月23日・24日@サンパウロ
 - ・ IGの原則論と体制・枠組み論を話し合う
 - ・ 準備・実施の会議体構成

NETmundial <http://netmundial.br/>

- ・ EMC (Executive Multistakeholder Committee) に、日本からAdam Peake氏 (市民社会代表) と前村 (技術コミュニティ代表) が参画
- ・ 議題は2つ
 - ・ Internet Governance Principles
 - ・ Roadmap for the Further Evolution of the Internet Governance Ecosystem
- ・ 広く寄書を募集 (3/8に締め切り, 189件受領)
- ・ 寄書をベースに成果文書案を起草し、会期中に検討し、最終化

今後の流れ

- 2014/03/23-27 ICANNシンガポール会議
 - 2014/04/13-18 WSIS+10 準備会合
 - 2014/04/23-24 NETmundial会合
 - 2014/05/6-15 ITU理事会
 - 2014/06/22-26 ICANNロンドン会議
 - 2014/09/2-5 IGF9@イスタンブール
 - 2014/10/20-11/7 ITU全権委員会会議(釜山)
 - 2015 国連総会(W SIS+10)
- <http://bestbits.net/wp-uploads/diagram.html> に詳細線表あり

ありがとうございました。

- 「インターネットガバナンスに関する動向と JPNICの取り組みに関して」
- <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131119-03.html>

Japan Network Information... (JP) | <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131119-03.html> 4 ☆ ▾

2013年11月19日
各位
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後藤滋樹

インターネットガバナンスに関する動向とJPNICの取り組みについて

動向

すでにお伝えしておりますように、2013年10月7日にインターネット関連10団体^{*1}により「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」^{*2}が発表されました。

この声明が発表された後、この10団体を中心としてインターネットガバナンスの新たな枠組みを模索する活発な取り組みが行われています。

2013年10月に開催されたIGF/バリ会議^{*3}の終了後には、議論の結果に基づきインターネットガバナンスに関する協調のあり方を広く議論する「1net.org」のWebサイトおよびメーリングリストが開設されました^{*4}。

また、ブラジル政府は現地時間2013年11月18日、インターネットガバナンスに関する国際会議を2014年4月23日および24日に開催すると発表し^{*5}、これに向けた議論や調整も盛んに行われるものと予想されます。

JPNICの取り組み

JPNICはこれまでインターネットガバナンスに関する議論に積極的に関与し、また併せてさまざまな情報提供を行ってまいりました。今後はますます議論が盛んに行われることとなりますが、より良いインターネットガバナンスのあり方を検討および構築するために、JPNICとしては引き続きこの動きに積極的に関与ならびに議論に参加するとともに、広く情報提供を行ってまいります。

本件に関するお問い合わせ先

ingov-query@nic.ad.jp

*1 IAB、ICANN、IETF、ISOC、W3C、および五つの地域インターネットレジストリ(RIR)：Afrinic、APNIC、ARIN、LACNIC、RIPE NCCのことを指します。
*2 インターネット関連10団体が「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」を発表
*3 <https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2013/vol1144.html#feature>
*4 <http://www.1net.org/>
*5 [ブラジル大統領府ブログ記事](#)(ポルトガル語)

上村さんの質問:

日本の観点から、
インターネットガバナンスについて
どのような態度をもつべきか